

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスめいほう			
○保護者評価実施期間	令和8年2月23日	～	令和8年3月14日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年2月23日	～	令和8年3月14日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が通所を楽しみにしていて、入浴ができること	・職員が明るい ・重症心身障がいでも、利用児の自己決定を尊重している ・広い浴室で、ユースラックを利用し、2人体制で利用児も介助者も安心して入浴ができる	・活動等がマンネリ化しないように、新しいことや自宅ではできないようなことに取り組んでいきたい
2	・看護師が多く配置されているので、医療的ケアがある児童が安心して利用できること	・医療的ケアがなくても、体調管理に留意し、安心して過ごすことができる ・主治医の指示書により、安心してケアを受けられ、保護者にならない家庭と変わらない方法で処置を行う	・完全な感染部屋がないので、感染管理には気をつける ・わからないことなどは保護者に必ず確認し、安全に努める
3	・言語聴覚士、理学療法士が配置されており、専門的支援がうけられること	・外部研修に参加しなくても、小児専門の理学療法士から学ぶことができる ・重症心身障がい児を受け入れてるため、姿勢保持や嚥下等で専門的支援がうけられる	・セラピストでなくてもどの職員でもできるように基礎知識を学べるように取り組んでいきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の人員配置には問題がないが、保育士が欠如しているところ	・限られた職種で活動を考えるので、その活動が正しいのかという疑問	・保育士の確保
2	・朝礼や終礼を毎日行うのは難しい	・送迎が2人介助のため、職員がそろって行うことが難しい ・利用児が毎日いるため、ミーティングの時間がなかなかとれない	・問題等が起こった時には改善にむけて行っているが、朝礼か終礼がどちらかできるように時間を確保していく
3	・火事を想定した訓練はできているが、防犯や地震を想定した訓練ができていない	・重症心身障がい児のため自分で動くことができないこともあるため、地震を想定するとむやみやたらに動かないほうが安全ではと、感じているため	・地震に関しては、職員の意識が薄いのでいつ、何が起こるかかわからないのでまずは、職員の意識改革を図る

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切であるか			<input type="radio"/>	ギリギリの職員数のため、緊張が強い児童に職員が2～3人必要な時に他児の支援に手が回らない時がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			<input type="radio"/>	ミーティングの時間が少ないため、広くは参画していないと思うので、もう少し増やして行きたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	業務改善にはつながっていないように思える
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			職員向けのティーチャーズトレーニングや小児専門の理学療法士によるリハビリの勉強等ができる環境にある
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	フォーマルなアセスメントができればいいと思う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			個々で活用内容を考えたらうで終了後意見等をもらい、次回につなげている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			日替わりでリーダーを決めて偏らないよう実施している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			<input type="radio"/>	きめ細やかにはできていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<input type="radio"/>		役割分担表を作成し、確認している

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービスめいほう

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	毎日、定期的には行ってはいないが問題が起こった時などは、その都度話し合いを行っている その日に出動した職員のみでの情報共有になるため、全職員に共有できるようにノートを記載し、グループLINEで必ず送信するようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	日々の記録は徹底しているが、すべての利用児に対して改善は行われていない
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月ごとに行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医から指示書を頂き、嘱託医に毎月1回は往診に来てもらい、情報共有を図っている オベ後やリハ入退院時は、リハ関係でサマリー等を頂いている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			今のところ対象者がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		できている児童とできていない児童がいる
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	できていない
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		部会を見逃してしまったりすることがある
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		<input type="radio"/>		相談には応じるが、それが適切かどうかは保護者の判断になるのでわからない
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>			年に1~2回行えている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		<input type="radio"/>		迅速に対応しているが、適切かどうかはわからない
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			毎月のお便りや会社全体のブログを発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			個人情報の同意等のか確認を年1回は行うようになっている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		<input type="radio"/>		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			<input type="radio"/>	以前はできていたが、自治会のこども会が解散してしまい、できなくなった
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			<input type="radio"/>	職員には周知し、机上訓練までは行っているが発生を想定した訓練は実施できていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			<input type="radio"/>	放課後の平日はなかなか難しい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			年1回は必ず研修を受け、伝達講習を行い、対応を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			説明・同意はとっている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		<input type="radio"/>		個別面談で必ず保護者にも確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			起こった後に、必ず情報を共有し、改善に努めている

(保護者等の皆様へ)

この放課後等デイサービス支援評価表は、放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	93%	7%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	93%	7%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	50%	21%	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			

	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
--	---	---------------------------------	------	--	--	--

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	79%	21%		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	93%	7%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93%	7%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	14	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	71%	29%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	79%	21%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	18	事業所の支援に満足しているか	100%			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。